

短い声で

それは浮かんでいるようにも見えた。真空の闇に浸されて 少しずつ 色を 失いながら。

2005 9/4-6 東京デザインセンター ガレリアホール

ポカリン記憶舎#12

6/11・12

高知県立美術館ホール



短い声で

◆キャスト
 田上智那
 中島美紀
 日下部そう

三村聡 (山の手事情社)
 市川梢
 桜井昭子
 山内健司 (青年団)

◆スタッフ
 作・演出 明神 慈
 音楽 木並和彦
 舞台美術 杉山 至×突貫屋
 舞台監督 真川英司×突貫屋
 照明 木藤 歩 (balance,inc.)
 音響 尾林真理
 演出助手 柳田麻友美
 写真 松本典子
 AD 松本睦至
 衣裳 フラボン
 制作 ポカリン記憶舎・フラボン
 主催 高知県立美術館 (高知県文化財団)
 会場協力 (株) 東京デザインセンター

それは浮かんでいるようにも見えた。真空の間に浸されて少しずつ色を失いながら。

ポカリン記憶舎#12

陽の落ちた美術館。

大展示室では新進若手作家の個展準備が進められていた。

開催日前夜、オブジェの搬入もほぼ終わり

スタッフたちは未だ現れない作家を待っていた。

待つことしかできない彼らがもてあましてしまうのは

時間だけではなかった。

——その場に居合わせたすべての人が

何を選択すべきかを突きつけられる、最新型の悲劇。

高知公演

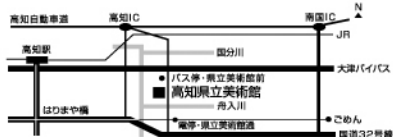
6 @高知県立美術館ホール

11 sat 19:00

12 sun 14:00

*ポストパフォーマンストークあり
 ゲスト: 11日 杉山 至 (舞台美術家)
 12日 堤 広志 (演劇・舞踊ジャーナリスト)

チケット
 前売り一般: 2000円 当日: 2500円
 問合せ・予約取扱い 高知県文化財団 088-866-8006



THE MUSEUM OF ART, KOCHI
 ◆高知市高須353-2
 ◆高知龍馬空港より連絡バスあり「西高須通り」下車徒歩10分
 ◆車でのアクセスはJR高知駅から20分、空港から30分、高知自動車道南国インターから15分(無料駐車場あり)
<http://www.kochi-bunkazaidan.or.jp/~museum/>

●メンバー俳優募集ワークショップ開催 制作・演出助手も募集中心 (詳しくは公演中のリーフレットをご覧ください。)

東京公演

6 @東京デザインセンター ガレリアホール

4 sat 19:00

5 sun 14:30/19:00

6 mon 14:30*/19:00

*6日(月) 14:30の回 ポストパフォーマンストークあり ゲスト: 桜井昭子

チケット
 前売り一般: 3000円 当日: 3500円
 学生: 2500円 (要学生証) 和服割引: 2500円
 ※平日午後割引: 6日(月) 14:30の回 一般2500円 学生2000円
 (学割・和服割引・平日午後割引 [学生] は予約のみ: フラボンで取り扱い 平日午後割引 [一般] はびあでも販売中)

前売取扱い びあ 0570-02-9988/9999 <http://t.pia.co.jp/>
 (Pコード 360-714)
 問合せ・予約取扱い フラボン 070-5553-4180
ticket@pocarine.org
<http://www.pocarine.org>

受付開始: 開演の50分前
 開場: 20分前
 (ドリンクコーナーあり)
 ※会場・演出の都合により、開演後の入場をお断りする場合があります。
 10歳以下のお子様の入場はご遠慮願います。



90年代半ばから、それ以前とは明らかに違う志向の劇団が現れ始めたと思う。従来の小劇場のような密閉空間ではなく、ギャラリーや美術館など開放感のあるホワイトスペースやフラットな舞台上で公演をする人たちが。ポカリン記憶舎はそんなクールな空間に和服美女を配して、和とモダンが共存する非日常的で稀有な時間を創り出す。描かれるドラマは必然的に精神性が深まり、抽象度が増し、夢幻の世界へと誘ってくれる。(演劇・舞踊ジャーナリスト 堤 広志)

◆ポカリン記憶舎
 作・演出の明神慈を中心に97年『畳屋の女たち』で公演活動開始。
 「地上3cmに浮かぶ楽園」を標に現実の皮膜が融解してゆく瞑想的空間を体現中。受付和服美女の和やかな出迎えにも定評がある。
 代表作品: 『ピン・ボン』(第8回劇作家協会新人戯曲賞優秀賞受賞) 『Pictures』(第20回文化庁舞台芸術創作奨励特別賞受賞)